

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Mohs surgery is the treatment of choice for recurrent(previously treated) basal cell carcinoma	
	論文の日本語タイトル	再発ないし過去に治療された BCC に対する Mohs 手術について	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ()	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ7-7	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I)	
	Pubmed ID	2925988	
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Dermatol Surg Oncol	
	雑誌 ID		
	巻	15	
	号	4	
	ページ	424-31	
	ISSN ナンバー	0148-0812	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1989	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Rowe DE	Texas Health Science Center
その他著者 1		Carroll RJ	Texas A and M university
その他著者 2		Day CL Jr	Texas Health Science Center
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	再発ないし過去に治療歴のある BCC に対する各治療法の検討
	データソース	不明
	研究の選択	不明
	データ抽出	1945 年以降の報告例の中で、外科的切除、放射線、クライオサージェリー、curettage & electrodesiccation、Mohs 手術を行った患者を抽出した。
	主な結果	1) Mohs 手術を施行した症例の 5 年再発率 5.6% 2) Mohs 手術以外の方法を行った症例では 19.9% (およそ 4 倍) ①外科的切除 17.4% ②C&E40.0% ③放射線 9.8% ④クライオ手術のデータはなし (5 年以下なら 13.0%というデータがある)
	結論	手術の適応ではなく、病変が小さければ放射線が適応と考えられる。 Curettage & electrodesiccation は再発腫瘍には適応がなく、原発巣に限って行われるべきである。Mohs 手術が再発した BCC の治療選択のひとつとして有用である。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	神谷秀喜
レビューワーコメント	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (I) 再発した BCC の論文を網羅しており、そこから導かれた治療選択に関する結論は有用である。厳密にはシステマティック・レビューではないが、詳細に検討されており、それに準ずるものと評価した。